

第29回 宝塚混声合唱団音楽会

ブラームス

ネーニエ（哀悼歌）

ドイツ・レクイエム

2017年8月20日(日)
いたみホール(伊丹市立文化会館)

兵庫県芸術文化活動支援事業

後援:宝塚市・伊丹市・西宮市・宝塚市文化財団・宝塚合唱連盟・兵庫県合唱連盟

ごあいさつ

私たち宝塚混声合唱団の第29回音楽会にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年は、ブラームスの「ネーニエ（哀悼歌）」と「ドイツ・レクイエム」を演奏いたします。当団では、ブラームスの「ドイツ・レクイエム」を、ちょうど20年前にピアノ伴奏で演奏しておりますが、今回はオーケストラの伴奏による本格的な演奏となりました。

20年前の私たちの団誌「パープルエコー」（月刊）を見ますと、当時の真摯な取り組み姿勢を強く感じることができます。発声とか、音程とか、表現とかの基本的な音楽の魅力に加え、宗教的合唱曲をどこまで歌えるかということと、ドイツ語で歌うという外国語の問題を重要な課題としています。ブラームスがこの曲で訴えようとしたのは何だったのか自分たちなりに答を出し、ドイツ語の歌詞がイメージになるまで咀嚼・反芻することによってこの課題を克服し、「伝説的な名演」と後々まで語り継がれるような演奏を目指していました。

20年の年月を経て先達と同じ思いを抱きつつ、今回はブラームスが設定したオーケストラ構成で演奏できることとなりました。宗教改革者マルティン・ルターによる膨大な「旧・新約全巻ドイツ語版」聖書の中の言葉の大海から、ブラームスが探し選んだ深い詞を懸命に歌い上げる喜びを感じています。そして何よりも、お聴きいただく皆様とこの感動を共有できることを心から祈っております。

どうぞ最後まで、ごゆっくりご鑑賞いただくとともに、今後とも宝塚混声合唱団の活動にご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2017年8月 宝塚混声合唱団



第28回 宝塚混声合唱団音楽会 ヴェルディ「レクイエム」 2016年8月20日 兵庫県立芸術文化センター（KOBELCO大ホール）

Program

ブラームス

「ネーニエ（哀悼歌）」

ブレットク：畑 儀文

休憩

ブラームス

「ドイツ・レクイエム」

第1曲 「悲しんでいる人たちは幸いである」

第2曲 「ひとはみな草のごとく」

第3曲 「主よ 私に教えてください」

第4曲 「あなたの住まいはなんと美しいことでしょう」

第5曲 「あなたがたにも今は不安がある」

第6曲 「この地上には永遠の都はない」

第7曲 「今から後 主に結ばれて死ぬ者は幸いである」

指揮 畑 儀文

独唱 辻井 亜季穂 （ソプラノ）

篠部 信宏 （バリトン）

オーケストラ アンサンブル・ムジカ・アニマ

字幕制作：松岡 愛 監修：藤野 明子 機材：ミチヤシステムズ

ブラームス「ドイツ・レクイエム」解説

ブラームスの生涯

ヨハネス・ブラームスは1833年に北ドイツのハンブルクで船員相手の音楽師の長男に生まれ、家計を助けるため夜の酒場でピアノを弾きながら、聖書や文学に親しみ、20才のときデュッセルドルフにシューマンを訪ねて音楽才能を激賞されました。シューマンが1856年に病死するまでの2年間、一家の面倒をよくみた彼は、未亡人のクララと終生にわたって親密な交際を続けることになりました。1857年にデトモルトで宮廷ピアニストの職を得たブラームスは大学教授の娘A・ジーボルトと恋に陥りますが、煩悶のすえ婚約を解消し、故郷に戻って女声合唱団の指揮や作曲に没頭し、質朴で重厚な大曲「ピアノ協奏曲第1番」を書き上げ、クララのピアノ演奏によってその価値が認められました。

1862年にウィーンに旅したブラームスは、北ドイツの港町とは対照的なドナウ河畔の古都の雰囲気魅了され、翌年この地に移住します。1865年に母を亡くした彼は早くから着手していた声楽曲「ドイツ・レクイエム」の作曲に心血を注ぎ、1868年に全曲が完成、演奏されて名声が確立しました。1872年に38歳でウィーン楽友協会の音楽監督に就任したブラームスは、自作とともにバッハやベートーヴェンの古典作品を選んで上演・指揮し、高い評価を受けながら3年間で職を辞任しました。その後は楽友協会に近い自宅を本拠とし、鉄道網を利用してヨーロッパ各地を演奏旅行で巡り、毎年夏季には近郊の保養地に滞在して作曲に励む傍ら数多の友人と語らう自由な生活を過ごしました。

ブラームスは魅力的な人柄もあって、ヴァイオリニストのJ.ヨアヒム、指揮者のH.v.ビューロー、音楽評論家ハンスリック、外科医ビルロート、ワルツ王J.シュトラウス、画家フォイエルバッハ、文豪ツルゲーネフなど錚々たる知友に恵まれ、若いドヴォルザークの才能を見抜いて支援を惜しみませんでした。しかし標題音楽の旗手で天才肌のF.リストや革命的な楽劇の巨匠ワーグナーとは面識を持ちつつも、内面的で純粋音楽を志向するブラームスは肌合わず、師事したり交誼を共にすることはありませんでした。

1876年、ブラームスは20年近く構想を温めてきた「交響曲第1番」を完成して絶賛を浴び、堰を切ったように「交響曲第2〜4番」「大学祝典序曲」「ピアノ協奏曲第2番」「ヴァイオリン協奏曲」「ヴァイオリンソナタ第1〜3番」

など管弦楽や室内楽の主要作品を次々に作曲し、民謡や民族音楽を取り入れた歌曲集や合唱曲「ネーニエ」「ジブシーの歌」などの声楽曲を数多く発表しました。89年にはオーストリア皇帝からレオポルト勲章を授与され、ハンブルク名誉市民にも選ばれて、後期ロマン派を代表する巨匠として栄光の頂点に立ちました。91年に諦念の漂う傑作「クラリネット五重奏曲」を書き上げたあとは創作力が衰減し、人生の晩年を締めくくる「4つの厳粛な歌」を書き上げ、クララの死を見送ったうえ、翌1897年に内臓の病により、独身を貫いた63年の生涯を閉じました。遺体はウィーン中央墓地に埋葬されています。

曲目解説

「ネーニエ」(哀悼歌)

1880年に友人の画家A.フォイエルバッハが50歳で亡くなり、哀悼の意をこめてブラームスがEシラーの詩「ネーニエ」(「哀悼」を意味するラテン語)に付曲した管弦楽付きの混声4部合唱曲で、翌年にブラームス自身の指揮によりチューリヒで初演されました。名高いギリシャ神話の故事3篇について物語ったうえ「愛された人々から、悲しみの歌が歌われるのは素晴らしいことだ」と結ばれるドイツ語の美しい詞は死を超えて生きる芸術の永遠性への憧憬と生き残った者への慰めに溢れております。曲は7つの小さな章からなり、管弦楽の前奏を持ち、中間部(第5、6章)の転調とテンポの変化を伴う3部形式で、寂しさの中に癒しの響きを湛えたブラームスの合唱曲のなかでも屈指の名曲です。

「ドイツ・レクイエム」

「レクイエム」というのは死者を慰める音楽のことで、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレの<3大レクイエム>を含め、ラテン語の典礼文によって作曲されていますが、ブラームスの「ドイツ・レクイエム」はドイツ語を歌詞とし、演奏会用として書かれました。

歌詞は宗教改革者のM.ルターがヘブライ語と古典ギリシャ語からドイツ語の口語に訳した新・旧約聖書の中からブラー

ムス自身が言葉を選び、死者の平安を祈るよりもむしろ生者の苦悩を死の観念に融和させる<生者への慰め>の音楽に作り上げました。

この曲の成立の動機については、師シューマンの死、実母の死、普墺戦争の戦死者への追慕などの諸説がありますが、構想から10年余をかけて逐次書き継がれ試演を重ねたうえ、1868年に全7曲が完成し、1869年、ブラームスが35歳のときにライプツヒで全曲初演されました。曲は管弦楽とソプラノ、バリトンの独唱と4部の混声合唱からなり、曲毎に調性が変化し、対位法が活用され、声楽と器楽が緊密に連携しながら、悲哀と希望、喜びと慰め、復活と平安へと精神の輪が繋がり、瞑想の境地に誘ってくれます。

「第1曲」 悲しんでいる人たちは幸いである

ヴァイオリン抜きのオーケストラで静かに始まる序奏を受けて「悲しんでいる人たちは幸い(Selig)である。彼らは慰められるであろう」という言葉(マタイ福音書)で合唱が始まり、「涙とともに種播く者は喜んで採り入れるであろう」(詩篇)と続き、再び冒頭の言葉に戻り、ハープの伴奏とともに終わります。全曲の基調となる曲です。

「第2曲」 ひとみな草のごとく

第6曲とともに長大な曲で、オーケストラの序奏に続き合唱が「人はみな草のごとくその栄光はみな草の花に似る」(ペテロ第1の手紙)と人生の儚さを緩やかな行進曲風に歌い、「だから兄弟たちよ、主の来臨の時まで耐え忍びなさい」と続き、最初の言葉が再現されます。後半は転調とともにテンポが早まり、フーガとなって「主に救われた者は喜びと共にシオンに帰って来る」(イザヤ書)と力強く歌われ、救済への確信が盛り上ります。

「第3曲」 主よ 私に教えてください

第6曲とともに中心的な曲で、バリトン・ソロが「主よ、わが終りまでの日数といのちの儚さを教えてください」(詩篇)と歌い、合唱が反復のあと「主よ、私は何に安心できるでしょうか」と問いかけます。後半は転調とともに壮大なフーガとなり、オーケストラの力強い通奏低音に支えられて「私はあなたを待ち望みます」と主への信仰を激白します。

「第4曲」 あなたの住まいはなんと麗しいことでしょう

木管の短い前奏に続いて合唱が「万軍の主(Zebaoth)よ、あなたの住まいは何と麗しいことでしょう」(詩篇)とワルツのリズムで柔らかに歌い出し、中間部の二重フーガで高揚したあと安らぎに戻ります。全7曲の中間にあって、天国のような安らぎを持つ珠玉の曲です。

「第5曲」 あなたがたにも今は不安がある

ソプラノ独唱を中心とした叙情的な曲で、静かなオーケストラの序奏を受けて「あなたがたにも今は不安がある。しかし私は再びあなたがたに会い、心によろこびを与えるであろう」(ヨハネ福音書)とソロが歌い、合唱がこれに応唱します。ブラームスが最後に書き上げた曲で、死んだ母への思いが込められていると言われ、慰めの雰囲気満ちています。

「第6曲」 この地上には永遠の都はない

この曲はラテン語のレクイエムではなく怒りの日<に>にあたりますが、審判の恐怖ではなく甦りと勝利が歌われ、オーケストラのフル演奏も加わって全曲中最も力強い曲です。合唱が「この地上には永遠の都はない」(ヘブライ人への手紙)と歌い出すと、バリトン・ソロが「みよ、私は神祕を告げる。終わりのラッパの響きとともに死者は甦る」(コリント人への第1の手紙)と告げ、合唱が呼応して「死は勝利に吞み込まれてしまった」と高らかに歌います。後半は行進曲風の大フーガとなって「主は万物を造りたもうた」(ヨハネ黙示録)と神の栄光を讃え、豪快な和音で締めくくられます。

「第7曲」 今から後 主に結ばれて死ぬ者は幸いである

昇天した人々を慰め、永遠の憩いに誘う終曲です。「主に結ばれて死ぬ人は幸いである」(ヨハネ黙示録)とソプラノ・ソロが歌い出すと、バリトン・ソロがこれを受け継ぎ、合唱も加わって冒頭の曲に近似した荘重な旋律が重ねられ、次いで弦の伴奏で中間部の合唱に移り「御霊は言う。彼らは労苦を解かれて休む」と歌います。最後に冒頭の曲が再起され、「Selig」という言葉が繰り返されて静かに全曲が閉じられます。

宝塚混声合唱団は、今年から21世紀生まれの若い仲間も加わって団員の年齢層が拡がり、積年の念願であったブラームスの「ドイツ・レクイエム」を畑儀文先生の指揮により、M.ルターが宗教改革に立ち上がった1517年から数えて500年という記念すべき年に演奏できる機会をいただきました。「ドイツの最も美しい国民オラトリオ」とも言われ、人間の苦難と尊厳が音と言葉に結晶されたブラームス畢生の傑作を、ソロ、オーケストラと力を合わせて心ゆくまで歌いあげ、会場の皆さまと感動を共にさせていただきたいと願っております。

参考文献
「音楽と音楽家」 R.シューマン 吉田秀和訳 岩波書店
「ブラームス 生涯と芸術」 K.ガイリング 山根銀二訳 芸術現代社
「ブラームス」 門馬直美 音楽之友社
「ブラームス」 三宅幸夫 新潮社 ほか
(テナー 福田 伸)

「ネーニエ」 歌詞対訳 作詞：フリードリッヒ・フォン・シラー

Auch das Schöne muß sterben!
Das Menschen und Götter bezwinget!
Nicht die eherne Brust rührt es des stygischen Zeus.
Einmal nur erweichte die Liebe
den Schattenbeherrscher,
Und an der Schwelle noch, streng,
rief er zurück sein Geschenk.
Nicht stillt Aphrodite dem schönen Knaben die Wunde,
Die in den zierlichen Leib grausam der Eber geritzt.
Nicht errettet den göttlichen Held
die unsterbliche Mutter,
Wenn er, am skäischen Tor fallend, sein Schicksal erfüllt.
Aber sie steigt aus dem Meer
mit allen Töchtern des Nereus,
Und die Klage hebt an um den verherrlichten Sohn.
Siehe, da weinen die Götter, es weinen die Göttinnen alle,
Daß das Schöne vergeht, daß das Vollkommene stirbt.
Auch ein Klagelied zu sein im Mund der Geliebten ist herrlich,
Denn das Gemeine geht klanglos zum Orkus hinab.

美もまた死すべきもの！
人間や神々を制するものも！
ステュクス(冥界)のゼウスの鉄の心を動かすことはない
一度だけ(オルフェウスの)愛が
影の支配者の心を和らげたが
支配者はやはり入り口のところで
厳然と彼の贈物(エウリュディケ)を呼び戻した
アフロディテも猪がひどく傷つけた美しい少年(アドニス)の
愛らしい肉体の傷を癒すことはなかった
神のような英雄(アキレス)がスカイアの城門で倒れて
運命が尽きるとき 不死の母(海の神テティス)も
彼を救うことはなかった
しかし彼女がネレウス(テティスの父)の
すべての娘たちと海中から上がると
称えられた息子の周りで嘆きの声が始まる
見よ、男の神々も女の神々も皆泣いている
美しいものは消え去り、完全なものは死ぬので
嘆きの歌も愛された人たちの口ではすばらしくなる
平凡なものは響きもなく冥界へ下りていくのだから

シラー：	ドイツの詩人、劇作家。ベートーベン「第九」の合唱の「歓喜に寄す」も作詞した
ステュクス川：	ギリシア神話で冥界(死者の世界)を流れる川
ゼウス：	同神話の最高神、天空や秩序・正義・法などを支配する。ローマ神話のジュピターにあたる
オルフェウス：	同神話の詩人、音楽家。妻のエウリュディケを蛇に噛まれて失ったとき冥界へ降りて行き、感動的な歌で支配者の心を和らげ彼女を取り戻す時、支配者の禁止に反して彼女が地上界を踏む前に振り返って見たので再び奪い取られた
アフロディテ：	同神話の美・恋愛・豊穡の女神
アドニス：	アフロディテに愛された美貌の王子。野猪のため非業の死を遂げその血からバラが咲いたという
アキレス：	テッサリア(ギリシア)の王子ペレウスと海の女神テティスの息子。母神は赤児の彼をステュクス川に浸して不死身にしたが、かかとが潰れからずそこが弱点となった。トロイア(トルコ西北部)戦争でギリシア軍随一の働きをしたが、スカイアの城門でトロイアの王子パリスがかかとに撃った矢で命を落とした
トロイア戦争：	ギリシアのスパルタの美しい王妃ヘレネがパリスに誘拐されたのでギリシアの王侯が王妃を取り戻すため、トロイアを10年間包囲した後巨大な木馬に兵を潜ませて城に入れ落城させたという
参考文献：宝塚混声合唱団OB長尾氏の解説資料(宝塚混声合唱団・音楽会運営部 編集)	

第2曲 「人はみな草のごとく」

Denn alles Fleisch es ist wie Gras
und alle Herrlichkeit des Menschen
wie des Grases Blumen.
Das Gras ist verdorret und die Blume abgefallen.

So seid nun geduldig, lieben Brüder,
bis auf die Zukunft des Herrn.
Siehe, ein Ackermann wartet
auf die köstliche Frucht der Erde
und ist geduldig darüber,
bis er empfahe den Morgenregen und Abendregen.

Aber des Herrn Wort bleibt in Ewigkeit.

Die Erlöseten des Herrn werden wiederkommen
und gen Zion kommen mit Jauchzen;
ewige Freude wird über ihrem Haupte sein;
Freude und Wonne werden sie ergreifen
und Schmerz und Seufzen wird weg müssen.

すべての人間それは草のようで
人間のすべての栄光は
草の花のようだから
草は枯れ 花は落ちる(ペテロ第一の手紙1.24)

だから今は耐え忍びなさい、愛する兄弟たちよ
主が将来現れるまで
みなさい、農夫は大地の
貴重な実を持っている
そしてそのために
秋の雨と春の雨が降るまで辛抱している(ヤコブの手紙5.7)

しかし主の言葉は永遠に残る(ペテロ第一の手紙1.25)

主に救われた者たちは再び帰って来るだろう
そして喜びの声をあげてシオンへ来る
彼らの頭の上には永遠の喜びがあるだろう
楽しみと喜びが彼らをとらえるだろう
そして苦悩のため息は去らざるを得ないだろう(イザヤ書35.10)

第3曲 「主よ 私に教えてください」

Herr, lehre doch mich,
daß ein Ende mit mir haben muß,
und mein Leben ein Ziel hat,
und ich davon muß.
Siehe, meine Tage sind einer Hand breit vor dir,
und mein Leben ist wie nichts vor dir.
Ach, wie gar nichts sind alle Menschen,
die doch so sicher leben.
Sie gehen daher wie ein Schemen,
und machen ihnen viel vergebliche Unruhe;
sie sammeln und wissen nicht,
wer es kriegen wird.
Nun Herr, wes soll ich mich trösten?
Ich hoffe auf dich.

主よ、私に教えて下さい
私には必ず終わりがあり
そして私の生命には限りがあり
それを知らねばならないことを
見てください私の日々はあなたの前では手一つの幅しかなく
私の一生はあなたの前では無に等しい
ああ、まさに確かに生きている人間も皆
全く存在しないようなものだ
人は影のようにさまよい
そして空しく思い悩む
誰の手に渡るとも知らずに
集め蓄える
だから主よ私は何に安心できるでしょうか？
私はあなたを待ち望みます(詩編39.5～8)

Der Gerechten Seelen sind in Gottes Hand
und keine Qual rühret sie an.

神によって救われた人の魂は神の手にあり
どんな苦しみも彼らに降りかかることはない(旧約聖書続編
知恵の書3.1)

第4曲 「あなたの住まいはなんと麗しいことでしょう」

Wie lieblich sind deine Wohnungen,
Herr Zebaoth !
Meine Seele verlangt und sehnet sich nach den
Vorhöfen des Herrn;
mein Leib und Seele freuen sich in dem lebendigen Gott.

Wohl denen, die in deinem Hause wohnen,
die loben dich immerdar.

あなたの住まいはなんと麗しいことでしょう
万軍の主よ！
私の魂は主の前庭を求めあこがれる

私の身体と心は生ける神に向かって喜び

あなたの家に住む人たちは幸いである
彼らは常にあなたをほめたたえる(詩編84.2～3.5)

「ドイツ・レクイエム」 歌詞対訳

第1曲 「悲しんでいる人たちは幸いである」

Selig sind, die da Leid tragen,
denn sie sollen getröstet werden.

悲しんでいる人たちは幸いである
彼らは慰められるから(マタイによる福音書5.4)

Die mit Tränen säen,
werden mit Freuden ernten.
Sie gehen hin und weinen
und tragen edlen Samen,
und kommen mit Freuden
und bringen ihre Garben.

涙で種をまく人たちは、
喜んで取り入れるだろう(詩編126.5)
彼らは大事な種を持って
泣きながら出て行く
そして穀物の束を持って
喜んで帰って来る(詩編126.6)

第5曲 「あなたがたにも今は不安がある」

Ihr habt nun Traurigkeit;
aber ich will euch wieder sehen
und euer Herz soll sich freuen,
und eure Freude soll niemand von euch nehmen.

Sehet mich an:
Ich habe eine kleine Zeit
Mühe und Arbeit gehabt
und habe großen Trost funden.

Ich will euch trösten,
wie einen seine Mutter tröstet.

あなたがたにも今は不安がある
しかし、私はあなたがたと再び会おうと思う
そのとき、あなたがたは心から喜ぶことになる
その喜びをあなたがたから奪い去るものはいない(ヨハネによる福音書16.22)
私を見なさい、
私はわずかの間の
ほねおりと労苦で
大いなる慰めを見い出した(シラ書51.27)

人をその母が慰めるように
私もあなたがたを慰める(イザヤ書66.13)

第6曲 「この地上に永遠の都はない」

Denn wir haben hie keine bleibende Statt,
sondern die zukünftige suchen wir.

Siehe, ich sage euch ein Geheimnis:
Wir werden nicht alle entschlafen,
wir werden aber alle verwandelt werden;

und dasselbige plötzlich, in einem Augenblick,
zu der Zeit der letzten Posaune.
Denn es wird die Posaune schallen,
und die Toten werden auferstehen unverweslich
und wir werden verwandelt werden.

Dann wird erfüllt werden das Wort,
das geschrieben steht:
Der Tod ist verschlungen in den Sieg.
Tod, wo ist dein Stachel?
Hölle, wo ist dein Sieg?

Herr, du bist würdig
zu nehmen Preis und Ehre und Kraft,
denn du hast alle Dinge erschaffen,
und durch deinen Willen haben sie das Wesen,
und sind geschaffen.

私たちはこの地上には永続的な都を持たず
来たるべき都を探しているから(ヘブライ人への手紙13.14)

見なさい、あなたがたに神秘を告げる
私たちは皆眠りにつくのではなくて
皆一変させられる

そしてそれは突然 瞬間に
最後のラッパの鳴るときである
ラッパが鳴り響き
死者は朽ちないでよみがえり
私たちは変えられるからである

そのとき、書かれている言葉が実現する

「死は勝利に飲み込まれている
死よ おまえのとげはどこにあるのか
地獄よ おまえの勝利はどこにあるのか」
(コリントの信徒への手紙一15.51～55)

主よあなたは栄光とほまれと力を
うけるにふさわしい
あなたは万物を創造し
あなたの意志によって万物は存在し
造られているから(ヨハネの黙示録4.11)

第7曲 「今から後 主に結ばれて死ぬ者は幸いである」

Selig sind die Toten,
die in dem Herren sterben, von nun an.
Ja, der Geist spricht,
daß sie ruhen von ihrer Arbeit;
denn ihre Werke folgen ihnen nach.

今から後 主に結ばれて
死ぬ者は幸いである
霊は言う
「そうだ 彼らはその労苦から解放されて休み、
その行いが報われるからである」(ヨハネの黙示録14.13)

参考文献：宝塚混声合唱団OB長尾氏の解説資料、聖書 新共同訳ほか（宝塚混声合唱団・音楽会運営部編集）

Profile

指揮

畑 儀文 はた よしふみ



photo:Eiji Shinohara

兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。
1979年大阪にて、小林道夫氏の伴奏による初リ
サイタルを行う。以後テノールソリストとして、ドレ
スデン国立歌劇場管弦楽団ホルン奏者ベーター・
ダム氏との共演、イエルク・デームス氏の伴奏によ
る数多くのリサイタル等で大きな成果をおさめた。
1991年オランダ・アムステルダムにおいて、バロッ
ク歌手として高名なマックス・ファン・エグmont氏
のもとで研鑽を積む。以後オランダ各地において、
受難週には、エヴァンゲリストとして招かれ、近年
はドイツ・ライプツィヒにおいてパッサリ作品のソロ
を務める。
また1993年～1999年にかけて、シュベルト歌
曲全曲演奏を成し遂げ、国内外で話題を集めた。
2017年3月大阪パッサリ合唱団オランダ、ドイツツ
アーでは「マタイ受難曲」の指揮者、エヴァンゲリ
ストとして演奏会を成功に導いた。
日本コロムビアからCD「日本のうた」「新しい日本
のうた」「トスティ歌曲集」「昭和のうた」「美しき水
車小屋の娘」、エール株式会社から「こどものここ
ろ」「日本のこころ」をリリースし、その天性の歌声
はジャンルを問わず心に響く感動を呼び、注目を
集めている。
「大阪文化祭本賞」「咲くやこの花賞」「大阪府民
劇場賞」「坂井時忠音楽賞」「兵庫県芸術奨励賞」
「兵庫県文化賞」等多数の賞を受賞。
丹波の森国際音楽祭シュベルトティアードたんば
音楽監督。京都女子大学非常勤講師。

ソプラノ

辻井 亜季穂 つじい あきほ



2017年9月より、ドイツ ヴュルツブルク歌劇場
専属歌手。
2014年から2017年まで、アルテンブルク・ゲラ歌
劇場(独)に専属歌手として所属。薔薇の騎士(ゾ
フィー役)でのデビューを大成功に収めた後、ボ
エーム(ムゼッタ役)、マルタ(レディーハリエット役)、
リゴレット(ジルダ役)、魔弾の射手(エンヒエン役)、
ドンパスクアーレ(パリーナ役)等に出演。2016年
には、聴衆の投票によって選ばれた人気歌手に与
えられるテアターオスカー賞を受賞。
シーズン2017/2018よりヴュルツブルク歌劇場
へ移籍、コジファントウツェ(デスピーナ役)、チャル
ダシュの女王(シュタージュ役)、中国のニクソン(毛
沢東の妻役)のプレミエールを控えている。
その他、ライプツィヒ歌劇場、ザクセン州立歌劇場
(ゼンパーオーパー ドレスデン)、ドルトムント歌
劇場、エアフルト歌劇場、ワイマール国立歌劇場、
ベルリンドイツオペラ(カヴァーキャストとして)に
客演。
大阪府立タ陽丘高等学校音楽科卒業。
愛知県立芸術大学音楽学部音楽科を経て、同大
学大学院音楽研究科博士前期課程を首席で修了。
2011年よりDAAD(ドイツ学術交流会)給費留學
生としてライプツィヒ音楽演劇大学オペラ科に留
学、マスターの学位を取得。在学中よりライプツィ
ヒ歌劇場に客演。
声楽を、大下久 深子教授、Prof. Dr. Jeanette
Favaro-Reuter 氏、Prof. Hans-Joachim
Beyer氏に師事。

バス・バリトン

篠部 信宏 しのべ のぶひろ



photo:Emi Nakagawa

大阪芸術大学大学院修了。卒業時に学長賞受賞。
第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門第3位
受賞。2009年丹波の森国際音楽祭のシンボル
アーティスト。
2005年より毎年渡欧Max van Egmond氏に
師事。2017年3月オランダ、アルクマールにてパッ
ハ「マタイ受難曲」のイエスを、ドイツ、フライブル
クにて同曲のバスアリアを歌いバーディッシュ新聞
紙上に絶賛される。
宗教曲のソリストとして日本テレマン協会定期、大
阪フィルハーモニー交響楽団いずみホール特別
公演、関西フィルハーモニー管弦楽団定期等に出
演。パッサリ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「短
調ミサ」「クリスマスオラトリオ」、ヘンデル「メサイ
ア」、モーツァルト、フォーレ、ブラームスの各「レク
イエム」、ベートーヴェン「第九」他多数のバスソロ
を務め好評を博す。
現在、シノベムジカアカデミー代表、京都パッサリ
リステン所属、フィルハーモニーカンマーアンサン
ブルメンバー、日本テレマン協会ソリスト、京都女
子大学非常勤講師。

チェロ/アンサンブル・ムジカ・アニメ主宰

上塚 憲一 かみづか けんいち

京都市立芸術大学卒業。チェロを黒沼俊夫、A.ピ
ルスマ、室内楽をG.ボッセ、S.スタンディジの各
氏に師事。大阪文化祭奨励賞、灘ライオンズク
ラブ賞、坂井時忠音楽賞を受賞。大阪音楽大学
教授、同大学付属音楽院講師、西宮高等学校音
楽科非常勤講師。チェロアンサンブル「エクラ」、
BaroqueEnsembleVOC、アンサンブル・ムジ
カ・アニメ主宰。西宮音楽協会会員。

バイオリン/コンサートマスター

釋 伸司 しゃく しんじ

京都市立芸術大学卒業。元テレマン室内管弦楽
団コンサートマスター。現在は、いずみシンフォニ
エッタ大阪、マイハート弦楽四重奏団メンバー。京
都フィルハーモニー室内合奏団客演コンサートマ
スター。室内アンサンブル・アッサンブラージュを
主宰し、ホール主催公演、学校公演レコーディング
など幅広く活躍している。神戸女学院非常勤講師。
アンサンブル・ムジカ・アニメコンサートマスター。

オーケストラ

アンサンブル・ムジカ・
アニメ

2006年上塚憲一を中心に発足したオーケストラ
で、主に関西で活躍する経験と実力豊かな演奏家
を中心に構成される。個々の演奏家のレベルの高
さから、時代考証に基づいた正統派の演奏を目指
す完成度の高いオーケストラで、バロックから近代
の合唱作品での演奏は共演した各方面より高い
評価を得ている。



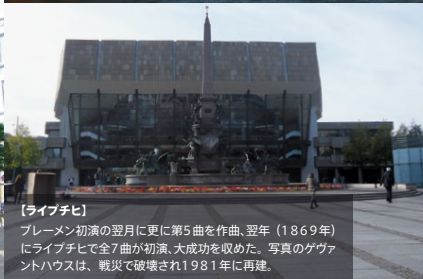
【ハンブルクの風景】
ブラームスの生まれ育ったハンブルクはハンザ同盟都市として栄えた北ドイツの街。テレマン、メンデルスゾーン等の大作曲家も輩出した。写真は市庁舎。



【ブラームス博物館】
ブラームスの生家跡の近くにある博物館。数多くの自筆譜や貴重な資料を展示。



【ハンブルク港】
ハンブルクはエルベ河畔の港町。少年時代のブラームスは家計を助ける為に、船乗り相手の酒場でピアノ演奏のアルバイトに精を出さねばならなかった。



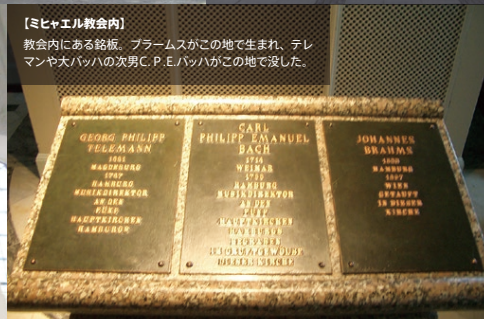
【ライブチヒ】
ブレーメン初演の翌月に更に第5曲を作曲。翌年（1869年）にライブチヒで全7曲が初演。大成功を収めた。写真のゲヴァントハウスは、戦災で破壊され1981年に再建。



【ブラームスの生家】
ブラームスは1833年にハンブルク場末のアパートの一室で、コントラバス奏者の父と市民階層出身の母との間に誕生。生家は第2次世界大戦中に空襲で焼失。



【ミハエル教会-1】
18世紀半ばに建てられたバロック様式の教会。ブラームスはここで洗礼を受けた。



【ミハエル教会内】
教会内にある銘板。ブラームスがこの地で生まれ、テレマンや大バハの次男C.P.E.バハがこの地で没した。



【ハノーファー】
20歳の時ブラームスは、ハノーファーでヴァイオリニストのヨアヒムと出会った。彼の尽力で、リストやシューマン夫妻との対面が実現した。写真は市庁舎。



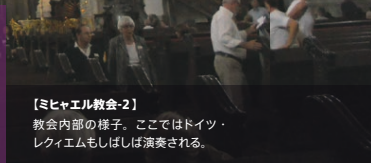
【バード・イシュル】
ブラームスは1880年（47歳の時）以降、オーストリア有数の保養地バード・イシュルに生涯で10回を過ごした。写真はレハールが暮らしたヴィラ。



【ハイドンハウス（ウィーン）】
ブラームスは、30歳の時にウィーンに最終的な根拠地を見いだした。かつてのハイドンの家にも住んでおり、「四季」を作曲した博物館の中にブラームス記念室もある。

ブラームス写真館

2013年のバハ写真館、2014年のハイドン写真館、2015年のベートーヴェン写真館に続く、バス 大隅氏によるブラームス写真館です。（音楽会運営部）



【ミハエル教会-2】
教会内部の様子。ここではドイツ・レクイエムもしばしば演奏される。



【ブレーメン】
ドイツ・レクイエムは1867年（34歳の時）に第1～第3曲のみウィーンで試演後、作曲者がブレーメンを初演の地として運び、翌年4月に初演（除く第5曲）。写真は市庁舎前。



【ライプハレ（ムジークハレ）】
20世紀初頭に建設されたネオ・バロック様式の音楽ホール。ヨハネス・ブラームス広場にあり、長い間ハンブルクの重要な音楽行事の中心地であった。



【ブラームス・モニュメント】
ライプハレ横にあるブラームスのモニュメント。4つのブラームス像が描かれている。



【シューマン夫妻の墓（ボン）】
1896年5月、クララ・シューマンが世を去った。ブラームスはバード・イシュルからフランクフルトへ向かうも葬儀に間に合わず、ボンでの埋葬時にクララの棺と対面した。



【ブラームスの墓（ウィーン）】
クララを追う様に、翌1897年に63歳で息をひき取ったブラームスはウィーン中央墓地に埋葬された。ここには、ベートーヴェン、シューベルト等の楽聖も眠っている。